

長野救命医療専門学校
令和5年度 第1回 学校関係者評価委員会 開催記録

開催通知 令和5年5月2日（火）

開催日時 令和5年6月12日（月）14時～16時30分

開催場所 長野救命医療専門学校 3階救急救命士学科3年生教室

出席委員 委員11名の内 次の9名の委員が出席した。

地域消防署職員	中村 文彦	東御消防署	署長
地域医師会役職員	森田 幸雄	小県医師会	事務局長
地域中学校長	盛野 憲俊	東御市立東部中学校	校長
地域高等学校長	上原 浩子	長野県東御清翔高等学校	校長
大学職員	宮田 暉朗	上田女子短期大学	元教授
教育関係有識者	宮原 信一	上田市立第四中学校	元校長
地域自治会代表	長越 秀一	東御市田中区	代表
保護者代表	足立 有佳	保護者会	代表
学生代表	若狭 来夢	長野救命医療専門学校	学生会長

※他に本校教職員下記6名が出席した

学校教職員	中村 哲也	長野救命医療専門学校	学校長
学校教職員	佐々木 大	長野救命医療専門学校	事務長
学校教職員	瀧野 昌也	長野救命医療専門学校	救急救命士学科長
学校教職員	檜原 康之	長野救命医療専門学校	柔道整復師学科長
学校教職員	岩下 笑	長野救命医療専門学校	事務
学校教職員	藤井 彰	学校法人 成田会	事務局長

一 開会 佐々木 大事務長が開会を告げた。

二 校長挨拶 中村校長が次の通り挨拶をした。

委員の皆様、本日は本校、学校関係者評価委員会にお越しいただき、誠にありがとうございます。

さて、長野県も4日前に梅雨入りが発表され、台風3号と梅雨前線の影響で、すっかりしない天気が続いております。

私事ですが、一昨日は蒸し暑い中、半日かけ自宅周辺の草刈りと枝払いを行い、昨日は雨の中、地域の草刈り作業に駆り出され、おかげで本日は両腕、両足が上げ下げするごとに痛みを伴っております。

また、私の家は旧丸子地区の国際音楽村の近くにあるのですが、朝はキジ、ウグイス、ホトトギスの大きな鳴き声で目が覚め、夜はフクロウの鳴き声の子守唄に眠りにつくという毎日が続いております。草木の成長も著しいこの時期、鳥たちにとっても、忙しい

時期なのだと実感しております。このような時期に、委員の皆様も公私ともご多忙のところではございますが、学生たちの授業の様子をご覧いただき、ご意見を賜りますようお願い申し上げます、開会のご挨拶とさせていただきます。本日は、よろしくお願いいたします。

三 委員委嘱と委員紹介

校長が新委員あて委嘱状を交付し、委員を紹介した。

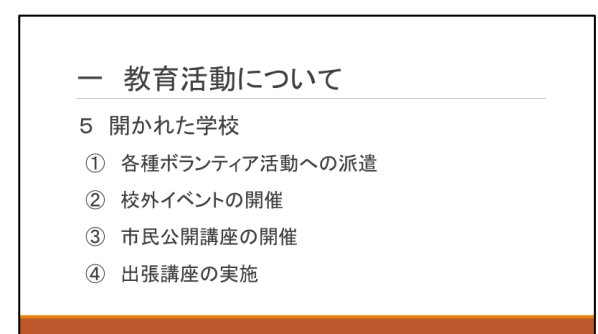
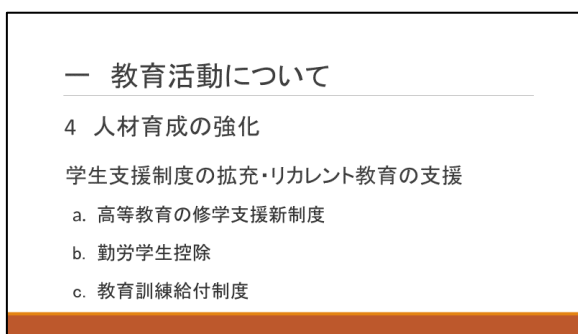
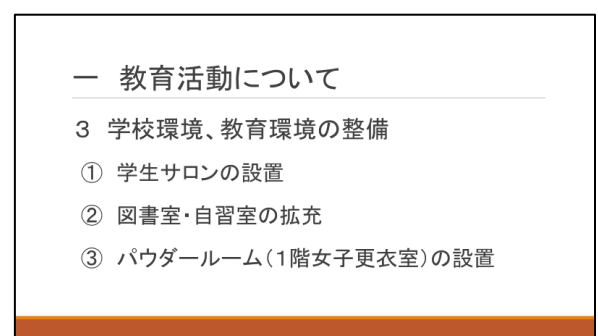
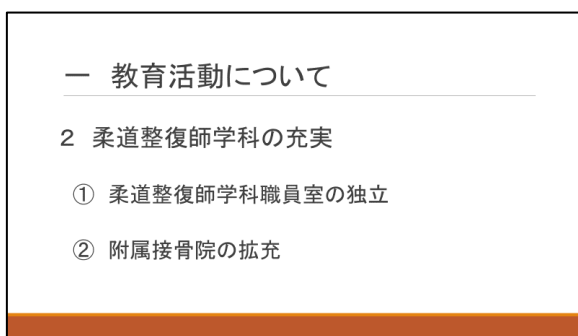
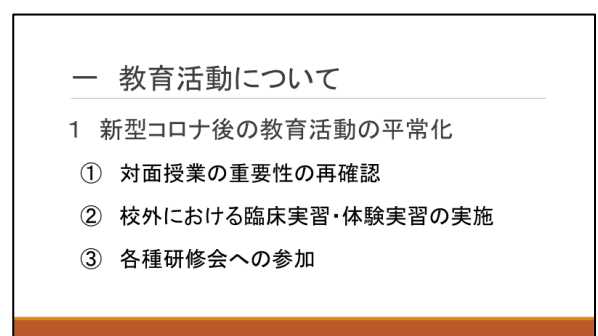
(本日ご欠席) 石坂 秀司氏 (業務のため)

増田 勝仁氏 (所用のため)

四 議事 要綱第5条2により校長が議長となり協議に入った。

1 本校の教育について

- (1) 教育方針とその実践について、中村校長が以下の項目について、学校要覧とパワーポイントをもとに説明をした。



二 新たな課題への対応

常に危機意識を持ち、新たな課題への早期対応を図る

- ① コミュニケーション能力の向上(生活指導の徹底)
- ② 人材育成の強化(教職員の研修)
- ③ 少子化対策に関する研究活動の実施
- ④ 学校施設の老朽化への対応

(2) 学校要覧等について、佐々木事務長が次のとおり変更点について説明した。

① 「リカレント教育の推進」について (学校要覧 P2、P6)

勤労学生控除認可 (2022 年 11 月)、専門実践教育訓練講座に指定 (2023 年 2 月)

② 学校関係者評価委員会要綱について (学校要覧 P7)

(3) 学校法人の現況について、藤井事務局長が次のとおり説明した。

- ・ 学生数が令和4年度より30名ほど増加しており、令和5年度の財務状況は大幅に好転する見込みである。両校合わせ300人程度の学生数により、財務状況の安定が図れるため、より一層学生募集活動を積極的に進め、入学者が増加するよう全力を尽くしていく。

2 本年度の教育課程について

(1) 救急救命士学科の教育課程について、瀧野学科長がパワーポイントをもとに次のとおり説明した。

令和5年度の教育内容の変更 救急救命士学科

令和5年度 第1回 学校関係者評価委員会 資料

今年度入学生より新カリキュラムを適用

1. 単位数の見直し
単位数を厳格に算定して見直しを行った
2. 特論分野の新設
従来の公務員試験対策講座と国家試験対策講座を特論分野として必修化した
3. 科目名の変更
病理学・法医学・薬理学 → 疾患の成り立ちと回復の過程
環境障害・急性中毒学 → 急性中毒学、環境に起因する疾患

カリキュラムの変更による単位数の変化

	単 位 数		
	国基準	旧カリ	変更後
基礎分野	8	31	31
専門基礎分野	10	14	11
専門分野	52	62	58
特論分野			20
計	70	107	120

シラバスの改訂

カリキュラムの変更と教員の異動に
対応するようにシラバスを改訂した

その他の新しい試み

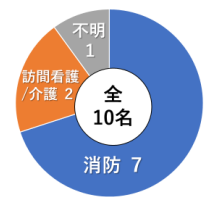
1. 基本手技慣熟授業の導入
基本的な救急救命処置の手技に習熟させる
(授業参観科目)
2. 臨床実習に備えた救急外来シミュレーション
実習現場での態度、動きを理解させる

現3年生の希望進路

2023年5月時点

参考：15期生の進路

- 病院
- 警察
- 進学



(2) 柔道整復師学科の教育課程について、檜原学科長が次のとおり説明した。

①カリキュラムの単位数・時間数共に昨年度と同様に運営していく。

国が定める時間数…99単位2750時間以上

本校のカリキュラム…100単位2880時間

②附属接骨院の拡充

トレッドミル、トレーニング・バランス機材の導入による運動療法設備の充実

③校外における臨床実習の実施

4単位180時間のうちの1単位を近隣地域の柔道大会、長野マラソン等での救護員としての実習を実施

3 授業参観とその評価

(1) 次の授業を委員全員が参観した。

	救急救命士学科	柔道整復師学科
参観時間	14時40分～15時	15時～15時20分
学年	2年	3年
人数	23名	9名
場所	4階実習室	実技実習室
科目名	基本手技慣熟	臨床柔道整復学
ねらい	1年次に学んだ救急救命処置のうち、重要で基本的な処置について繰り返し練習し、スムーズに実施できることを目的としている。今回は、気道確保用器具使用。	認定実技審査の骨折・脱臼項目について、整復法・固定法を学び、実践できるようにする。
授業者	宮尾 政成 教務	飯田 秀男 教務

- (2) 授業参観後、委員から次の感想・意見をいただいた。
- (中村委員) 救急救命士学科は一生懸命やっているのはわかるが、細々やっているように感じた。また、本来ならば人体に行なう気道確保を人形でやっていることにより雑な扱いになっているのではないかと感じた。気持ちや考え方を変え、行っていくべきだと感じた。柔道整復師学科は、実際に人に対して行うことでコミュニケーションを取りながら行っていて素晴らしいと感じた。
- (森田委員) 学生数の割に教員が1人しかおらず、やり方の流れが伝わっているのか疑問に感じた。柔道整復師学科は人数やスペースの関係もあるかと思うが、教員から発信した流れが学生に浸透しているように感じ、学生も積極的に授業に参加しているように感じた。
- (盛野委員) 手元のマニュアルを見ながらだと視線が下がってしまう。大きい掲示物やスクリーンを活用することで視線が下がらず、かつ自分で指差し確認等しながら授業を進めていけるのではないかと感じた。
- (上原委員) 学生が生き生きと授業に参加しているように感じた。こちらが質問をすると学生が丁寧に答えてくれる姿もあった。学生同士コミュニケーションを取りながら授業に参加しているように感じた。柔道整復師学科は、9人ひとりひとりの眼差しが真剣で、主体的に学んでいると感じた。
- (宮田委員) 小手先の技術を支えているのは、患者に寄り添う心情であると感じている。そういったものがないと技術も上達しないのではないかと感じた。謙虚さや恐れも教えていかないといけないのではないかと感じた。
- (宮原委員) 学年の違いか、学科の違いか、人間関係づくりの差なのか、2年生と3年生ではこんなに違うのか、と感じた。学年を重ねることで、お互いの気持ちが出し合える関係を築いていけるのかと感じた。3年生はコロナ禍真っ只中の子たちだが、コミュニケーションが取れている。担任や教員との関係性や教室内での学び合いがあると全体の質が向上するのではないかと感じた。2年生は、まわりで見ている学生が意見を言わないなどコミュニケーションが足りていないように感じた。お互いに気持ちを語り合ったり、通じ合ったりすることを大事にしていくべきだと感じた。
- (長越委員) 救急救命士学科は、1テーブルに人体模型は1体のほうがよいのではないかと感じた。2体以上あると、隣の様子が気になってしまうのではないかと感じた。ただ、難しい勉強をしているが、明るい表情であった。柔道整復師学科は、人体に対して施術を行うのでより真剣で、とても良い雰囲気、良い仲間づくりができていると感じた。
- (足立委員) 息子が2年間の学習の成果で病院実習に行っているが、病院でいろいろ経験させてもらって、日々成長していると感じている。
- (校長) 授業を見られた側として、学生代表の若狭くんの感想をお願いしたい。
- (若狭委員) 普段とは違う空気感で、中には緊張している学生もいたが、いつも通りの授業が出来たかと思う。
- (校長) 柔道整復師学科の授業はどうだったか。

- (若狭委員) 授業雰囲気も違い、1学年上というだけで、明るくコミュニケーションがしっかりとれていて救急救命士学科の授業とは違うと感じた。
- (校長) 学科長にお聞きするが、自身の学科・他学科の参観を見ての感想をお願いしたい。
- (瀧野学科長) 基本手技慣熟の授業は4月から始めた科目で、私自身も初めて見たが、改善点は山ほどあると感じた。柔道整復師学科については、担当教員が自分のペースで授業が進められていたと感じた。
- (檜原学科長) 救急救命士学科については、人数が多い分、全体を見渡すことがなかなか難しいのかなと思って見ていた。柔道整復師学科は、コミュニケーションを取る部分と集中して実技を行う部分のけじめをしっかりとつけて、授業を行っていかないといけないと感じた。
- (校長) 救急救命士学科については、横並びの机の配置では、教員1人であればなかなか目が届かない部分があるので、配置を変える必要があると感じた。また、机上の整理整頓についても見直す必要があると感じた。
- ところで、両学科に言えることだが、メモを取る学生がいなかった。他の人が質問したことに対して、質問していない学生が理解できているかどうか。中学校・高校の実習では、メモを取るような指導をしているか。
- (盛野委員) 必然的にメモを取る生徒はいる。自分で必要だと思えばメモを取っている。
- (上原委員) 高校生も、自分の判断で必要な場合はメモを取る生徒もいるし、取らない生徒もいる。それは個々の判断で行っている。
- (校長) 盛野先生がおっしゃられたように、マニュアルに関しても、スライドで大きく見せる等、工夫をしていきたい。
- (宮原委員) 減ってはいるが、義務教育では、年何回か研究授業として、ある先生の実践している姿を、他の教員たちが一緒に見せてもらって勉強するという機会を設けている。教員同士で勉強する時間を設けているか。
- (校長) 現在、柔道整復師学科の教員は、授業のない時間は附属接骨院で施術に入っているため、なかなか他の先生の授業を、参観する機会が少なくなっている。今後、そういった時間が確保できるよう工夫をしていきたい。
- 救急救命士学科については、今日はいらっしゃらなかったが、もうお一方、昨年まで現場で働かれていた方に助手をお願いをしている。普段は教員2人態勢で授業を行っている。そういった面で本日は目の行き届かない部分もあったかと思う。学生代表の若狭くん、助手の先生がいる時といない時で違いはあるか。
- (若狭委員) 現場を長く経験している先生から、新しい知識をたくさん教えてもらえるので、また違うかと思う。

4 令和4年度の自己評価結果と改善方策（案）について

- ・令和2年度、3年度はコロナの関係で評価していただけなかったため、令和元年度との比較となる。
- ・学生支援について、担任制を導入しているが、学生に対するフォローは学科全体で対応をしている。
- ・社会貢献・地域貢献について、コロナの感染対策の緩和によりイベント等の開催も再開していることから、積極的に取り組んでいく。

5 本校教育に関する改善提言

- ・コロナ禍の3年間によって実施できない事業もあり、その内容によっては評価できない部分もあった。ただ、3年前と比べ、概ね良い傾向になっていると感じている。一方で、この3年間で停滞してしまった部分もあったので、先生方の研修やイベント活動等も含め、この先どういう目的を持って達成していくかというところを、もう一度見直す機会としていきたい。

また、5年前に立てた中期計画の期間を満了し、次の5年へ向けて中期計画を立て実践していくところであるが、画期的な学生中心とした対応を、学校としてどのようにできるか模索しているところ。5年後の達成ではなく、短期計画として認識し、毎年達成していくつもりで実施する。

6 今後の取り組み

佐々木事務長が、今後の取り組みについて学校要覧によって主たる事業を説明した。

6月24日（土） 第1回オープンキャンパス

6月24日（土） suwako 8speaks ランナーサポート 中止

7月 1日（土） おしごと学ぼう in アリオ

8月 5日（土） 第1回AO入試

8月 8日（火）～第Ⅰ期夏季休業

8月17日（木）～前期定期試験

8月26日（土） 市民公開講座

8月30日（水）～第Ⅱ期夏季休業

五 校長挨拶 中村校長が次の通り挨拶をした。

本日は、多くの貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。毎年、先生方からいただいたご意見を基にカリキュラムの変更や授業改善をさせていただいております。まだまだ改善すべき点は多々あるかと思っておりますので、引き続き宜しくお願い致します。梅雨入りということで、体の不調も出てまいります。皆さまも健康には十分ご留意いただきまして、梅雨の時期を乗り越えていただければと思います。本日はお忙しい中、誠にありがとうございました。

六 閉会 佐々木事務長が閉会を告げた。